

作文・一般の部

前進

中谷 健一さん（彦根総合高等学校1年）

「君は来年、高校生になる。心も体も強く成長しなきゃだめだぞ。でも、どうしても越えられないことがあるれば、周りの人に相談しなさい。それが解決の一歩だよ。」

私がいじめに悩んでいた中学校三年生の頃、当時の担任の先生はそう伝えてくれました。これからどうしていいか。なぜ自分だけが辛い思いをしななければならないのか。学校に行きたくない。友達の顔さえ見たくない。そんな状況をどう解決したらいいか。先の見えない不安に耐えきれなくなっていた私にとってその先生の言葉は本当に心に響きました。「よく言ってくれたね。」

すっきりしたように感じました。それからは、自分の学校生活を取り戻すための日々が続きました。先生ともちろんのこと、友人たちや家族を交えての話し合いを何度も何度も重ねました。友達に「裏切られたのではなにか」「友達って何なんだろう。」いろいろな疑問を感じていた私には、話し合いの場で自分の気持ちを素直に表現するのは、本当に苦しいことでした。けれども、ねばり強く話していくうちに、段々といじめは解決の方向に向かいました。その時に、自分一人で悩んではいけません。勇気をもって周囲の人に自分の不安を伝えること。そして話し合うということが大切なんだと気づきました。同時に「一人で悩まず、相談しなさい。」という先生の言葉を身をもって実感しました。その言葉の通りに物事が進んだからこそ、今も、中学校時代の友人とは親友としてつきあっています。友達だからこそ、わかることは必ずあります。

私は、高校生となり、充実した日々を過ごしています。当初は、新しい環境で生活をする上でたくさん不安を抱えていたけれど、新しい友達もできて人間関係も少し広がったように思います。今でも、当時のことを思い出すとありますが、辛かった分、自分が勇気をもって行動したことに自信をもてるようになりました。

ちゃんと強くなっている。ちゃんと前に進んで行っている。もし、今、色々なことで悩んでいる人がいたら、そう伝えてあげたいです。それが同時に、私自身に対するエールだから。

選評

辛い体験を思い出し、よく応募してくださいました。あなたの不安をよく理解し励ましてくださる先生がおられてよかったですね。ひとりで悩まず話し合いによって物事は解決できるという経験は、あなたのその後の人生に大きな自信となつていきます。この作文を読んで勇気づけられる人も少なくないでしょう。いま辛い思いをしている人へのエールでもあります。

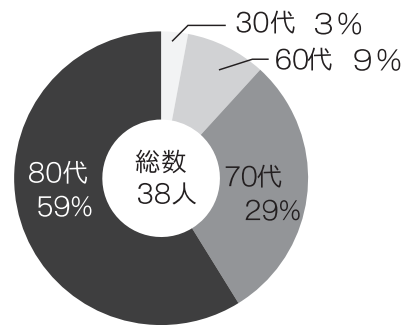
福祉自転車タクシー（べんりんたく）のモデル事業 結果報告をします

NPO 法人五環生活が、国土交通省のモデル事業『平成 21 年度「新たな公」によるコミュニティ創生支援モデル事業』（二次募集）に採択され、自転車タクシー事業を実施されました。事業は、細い街路の多い市内の旧城下町で、特に高齢化率 27%と高い城西小学校区をモデル地区にしました。高齢者や体の不自由な人などを対象に会員を募り、特別料金で乗車していただきました。その結果を報告します。

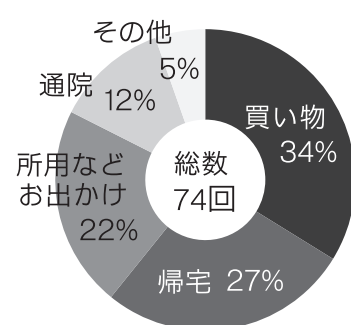
問い合わせ先 国土交通省 交通対策課 ☎30-6134、FAX24-8517

※事業内容についてのお問い合わせは、NPO法人五環生活 ☎26-1463

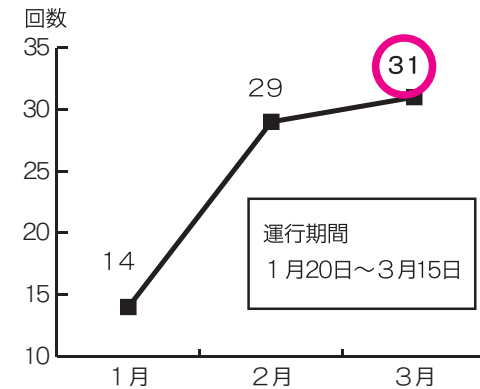
【 会員募集結果 】



【 利用目的 】



【 乗車実績 】



【 事業のまとめと課題 】

- 70 歳から 80 歳代の人が多いなか、30歳代の子育て中の母親の利用もありました。
- 手荷物があるときや、少し疲れたときなどに利用される人が多くありました。
- 1月から開始し、徐々に利用者が増え、3月は半月で31回と急増しました。
- 短距離移動に利用する人が多く、バスやタクシーなどを補完する移動手段として利用することが期待できます。



2010 国勢調査

基準日 平成22年10月1日

9月下旬から調査員がお伺いします



連載コラム③ 調査方法が変わります

今回の国勢調査では、回答・提出がしやすくなるよう、以下の点が改善されました。

- ◆ 調査票は、すべての世帯で封筒に入れて封をして、提出していただくことになりました。
- ◆ 調査票は、調査員に提出するほか、郵送で提出することができるようになりました。

問い合わせ先 国土交通省 企画課 ☎30-6143、☎30-6101、FAX22-1398

学年は、応募時のものです

中山 璃花さん（南中学校3年）



ポスター・中学生の部